

# タウンミーティング

四季山遊会事務局

## 1. 2010年度4月～9月 活動報告

	回数	人数	男性	女性	1回平均人数
4月	6	76	41	35	12
5月	6	98	56	42	16
6月	1	16	11	5	16
7月	3	34	20	14	11
8月	5	64	33	31	12
9月	7	102	50	52	14
合計	28	390	211	179	13

※企画回数、参加人数は山行のみカウント、このほかにTMやバス清掃など 55名参加

## 2. 2010年度前期 会計報告

※詳細は席上配布

※詳細をご希望の方は事務局までご連絡ください。

全体事務局	レンタルサーバ代、事務消耗品代、交通費、メンバー保険料等
バス	運転手謝礼、タイヤ交換・組み換え・修理費等、自動車税
各事務局	写真代、事務消耗品代、会議室等諸経費

## 3. 冬山に向けて

そろそろ冬季登山の時期になります。登山を始めたばかりの頃は、「冬は山には登らない、まして雪山なんて・・・」と思っている方も、まずは低山の冬山から始めてみませんか？夏山とは違った感動に出会えるかも・・・

ただし、冬山、雪山では突然の悪天候に見舞われるリスクが増すため、装備はそれなりに考えておく必要があります。

冬季登山の基本を学んでおきましょう。

### ＜高度と気温の関係＞

高度が100m増すごとに気温が0.6℃さがります。平地（標高0m）と標高1000mの山では6℃、標高1500mの山では9℃の気温差があることになります。これに風が加わると、風速1mごとに体感温度が1℃下がります。

### 3-1. 衣服

夏山でも冬山でも衣服は重ね着が基本です。冬だからといって保温性ばかりを考えて厚手のものを選ぶのではなく、吸湿性・速乾性・収縮性・防水性などを重視し、上手に重ね着しましょう。行動中は体が温まり、休憩中は体が冷えるので、衣服はこまめに脱ぎ着するようにしましょう。

#### [アンダーウェア]

夏山と同じく速乾性の高い長袖。アンダーウェアの上下は汗や湿気をすばやく吸湿発散させるものがおすすめです。

#### [中間着]

中に重ね着するものは、フリース素材などの収縮性のあるものが体を動かしやすくおすすめです。

#### [アウターウェア]

風を通さない素材でフード付きのものがおすすめです。目的の山の標高やまだそれほど寒くない時期であれば、レインウェアでも代用できます。

また、羽毛素材などの軽くてコンパクトに収納できるジャケットは、休憩時の寒いときに羽織ることもできるので、ザックに入れておくと便利です。

#### [帽子]

寒さ対策としてはウールやフリース素材の帽子がよいと思いますが、行動中暑くて蒸れることもあるので、その日の天候や自分の好みに合わせてください。怪我から頭を守るといふ帽子の基本は忘れないように。

#### [手袋]

通常使っている手袋でかまいませんが、積雪期はオーバーグローブとして透湿性防水素材のものと組み合わせて調節します。インナーグローブは雨や雪に濡れた場合の予備も忘れずに持参すること。

### 3-2. 装備

冬山装備は「備えあれば憂いなし」と考えてください。使用するかどうかわからない装備も、冬季登山では必ず備えておくことが大事です。

#### [アイゼン]

アイゼンは、硬く締まった雪の上やアイスバーンを歩くときに使用します。雪の少ない登山道、新雪の量が多く平坦な登山道を歩く場合は、アイゼンはかえって歩きにくくなりますので、「雪＝アイゼン」とは考えないでください。

#### <爪の本数の違い>

夏山雪渓用の軽アイゼン(4～5本爪)から6本爪、8本爪、10本爪、12本爪とさまざまありますが、これから冬山用にアイゼンを準備する方は、軽アイゼンよ

り安定感のある6本爪以上のアイゼンがおすすめです。爪の本数が多く前爪のあるものはそれだけ安定感とグリップ力が増しますが、自分の足に引っかかりやすくなるので、アイゼン装着時の足運びに気をつける必要があります。軽くて収納の場所をとらない軽アイゼンは非常用として一年中ザックに入れておいてもよいでしょう。

#### 〈装着方法の違い〉

アイゼンには装着の方法が、バンド式、ワンタッチ式のものがあります。最近では、ワンタッチで簡単に装着できるタイプが主流のようですが、靴との相性もあるようですので自分の靴に合う種類を選んでください。アイゼンを購入するときは靴を持参しましょう。

#### 〈アンチスノープレート〉

アイゼンの裏に付ける雪付着防止用の板のことです。湿った雪はアイゼンに付着しみるみる間に団子になります。最初からアイゼンとセットになっているものもありますが、そうでない場合はアイゼンに合わせて購入しましょう。

#### [スパッツ]

スパッツは寒さ対策にもなり、雪山では雪が靴の中に入ってくるのを防ぐことができます。また、アイゼン装着時は自分の足を保護するために必須です。

#### 【アイゼン装着の事前準備】

1. 事前にベルトなどの長さを調節しておきましょう。
2. 雪山では手袋を外しませんので、事前練習でも手袋をしたまま着脱する練習をしておきましょう。

## 4. 課題

### 4-1. メンバー保険:補償内容の変更

10月1日より傷害保険(旅行保険)の保険料が変更(保険料の値上げ)となったため、保険契約の内容を見直しました。

その結果、「死亡・後遺障害」、「入院日額」の補償金額を下げることで、保険料は現行のままとなりました。11月12日より新契約内容となります。

HPでもご案内していますが、変更内容は以下のとおりです。

	変更前	変更後(平成22年11月12日以降)
保険料	300円(1泊2日まで)	300円(1泊2日まで)
	350円(3泊4日まで)	350円(3泊4日まで)
	400円(6泊7日まで)	400円(6泊7日まで)
死亡・障害	333万円	255万円
入院(1日)	3,500円	3,000円
通院(1日)	2,000円	2,000円
賠償責任	1億円	1億円
救援者費用	200万円	200万円

#### 4-2. 山行形態および保険の確認

四季山遊会では、万が一に備えて保険への加入を義務付けています。会の山行は安全第一をこころがけていますが、自然の中に身を置くということは、絶えず危険と隣り合わせであることを意識しておかねばなりません。保険への加入は、登山をするうえで、安全に対する意識を高め、不注意による事故を防ぐ根本的な安全対策の一つでしょう。

個人で保険に加入していない方は、必ず会で準備している保険にご加入ください。

会では、ハイキング保険、山岳登山保険を準備しています。保険種別は以下のように山行の形態によって使い分けています。

※山岳登山とは、山行の難易度に関わらず、アイゼンやピッケル・ザイル(ロープ)などの道具を使用する場合の登山を指します。

※氷雪期でもアイゼン等を使用せず、危険性のない、一般の縦走路(登山道)は山岳登山にはなりません。

会の山行は、安全最優先で臨みますので、現地での道具の使用に関しては、リーダーの指示に従ってください。

#### 4-3. 写真発送、確認メール送付の件

写真発送の件は、これまでのTMなどで、何度か『不要』の声があがりましたが、データ保存できないメンバーもあることから『必要』の意見も多く、また会としても参加者と会を物理的につなぐ唯一の手段であり、初心者や初参加者を広く受け入れる会の性質上、継続していきたいと考えています。

参加確認メール送付に関しては、企画内容・集合場所・集合時間の最終確認は、中止の連絡同様、参加者それぞれがHPや掲示板等を確認し、事務局からの参加確認メール送付は『不要』とのご意見がありました。

初参加の方に対しては、不親切な対応になるかもしれませんので、検討課題とします。

#### 4-4. アンケートの実施について

前項の参加確認メールに関してなど、TMに参加できないメンバーの意見を広く拾うために、アンケートの実施を考えています。アンケートは、選択方式の簡単な内容とし、メンバーおよび初参加申込者限定とするため、各企画の申し込みフォームに差し込むように考えています。回答については任意で、アンケートに協力していただける方のみとし、アンケートの結果は、今後の会運営の参考にしたいと思います。

### 5. 2010年後期山行計画

## 6. 事務手続きの確認

### ☆申し込み内容の不備

お申し込みの際、内容に不備がないか確認のうえ送信してください。  
内容に不備がある場合、事務局から確認の連絡をさせていただきます。確認ができるまで申し込みは保留にさせていただきます。

### ☆メールアドレス、携帯メール受信設定の確認

申し込み完了後、申し込みに記載したアドレスに仮受付のメールが届くはずですが、このメールが届かない方は、アドレスが間違っていることが考えられます。

また、携帯アドレスを登録の方は以下のことが考えられます

- ・ PCからのメールをブロックする設定になっていないか。
- ・ URL 付きメールをブロックする設定になっていないか。

仮受付メールが届かない方は、記載アドレスの確認、メール設定などご確認ください。

### ☆キャンセルの連絡

キャンセルの連絡は、必ず事務局宛にメールでご連絡ください。掲示板への書き込みでは、本人確認ができません。

キャンセル処理は、申し込みと同様事務局で確認ののち、手動で処理します。

申し込み期限を過ぎてからのキャンセルは定員に空きがでてしまいますので、できるだけ早めの連絡をお願いします。

合宿等のキャンセルについては、宿泊や食事などの事前準備が必要な場合もあり、申込締切後のキャンセルについてはキャンセル料をいただくこともあります。

## 7. その他

## 2010年度事務局サポーターの紹介

全体事務局	特別顧問	原田 真人		
	会代表	武藤 尚子		
	副代表(鹿児島会地区代表)	小倉 一哲		
	副代表(福岡会地区代表)	坂井 寛		
	会計サポーター	田中 暁子	樋口 景子	
	HP管理サポーター	武藤 尚子	坂井 寛	
	バス管理サポーター	上田 博文		
	名簿管理サポーター	藤田 佳代	武藤 尚子	
	受付担当サポーター	藤田 佳代	武藤 尚子	
	保険サポーター	武藤 尚子		
	声のお便りサポーター	池水 久美		
鹿児島会	企画リーダー	小倉 一哲		
	サブリーダー			
	事務サポーター	斉藤 加代子	池上 紀子	
福岡会	企画リーダー	坂井 寛	武藤 尚子	上田 博文
	サブリーダー	寺井 紀義		
	事務サポーター	井手 公子	河野 文子	
スポット	屋久島会企画リーダー	上田 博文		
	関西会・東京会企画リーダー	田口 芳人		
	関西会サブリーダー	大野 雅嗣		
	事務サポーター	広保 邦子	広保 信一	

※副代表は各地区代表を兼ねる。

※代表、副代表で、役員会を構成する。